

令和8年度 九州老人福祉施設職員研究大会 開 催 要 綱

1 大会テーマ

「つなぐ実践、創る未来」

～地域に^{ひら}拓く福祉と介護

熊本から新たな挑戦～



2 趣 旨

介護現場を取り巻く環境は今、かつてないほど複雑化・高度化しています。科学的介護情報システム(LIFE)に代表されるエビデンスに基づく介護、認知症ケアの深化、AI・ICTの利活用や介護ロボットの導入、地域包括ケアシステム、多職種連携、人材育成の充実、そして施設と在宅サービスの一体的な支援体制の構築などが強く求められています。

その一方で、人材不足や高齢者ニーズの多様化、制度改革や財源制約など、現場が直面する課題は日々深刻さを増しています。

こうした中で、高齢者福祉の現場では、利用者の尊厳を守りながら、いかに質の高いケアを持続可能に提供していくかが問われています。

そこで本大会は、九州各地の現場で積み重ねられてきた創意工夫や研究成果を持ち寄り、実践に裏打ちされた知見を相互に共有・検証することで、参加者間の学びと九州全体の連携を促進し、持続可能で質の高い介護の未来を共に描くとともに、急速に変化する社会課題に対応するための新たな視点と取り組みを創出する機会となることを目的として開催します。

また、平成28年熊本地震からの歩みを経て、地域に根差した信頼される福祉のあり方を問い直す熊本の地から、社会福祉法人・施設が「地域共生社会の中核的資源」として果たすべき使命と価値を、九州全体に向けて発信してまいります。

- | | | |
|--------|----------------------------|------------------------------|
| 3 主 催 | 九州社会福祉協議会連合会
熊本県社会福祉協議会 | 九社連老人福祉施設協議会
熊本県老人福祉施設協議会 |
| 4 共 催 | 公益社団法人全国老人福祉施設協議会 | |
| 5 後 援 | 熊本県 | 熊本市 |
| 6 開催期日 | 令和8年10月1日(木)～2日(金) | |
| 7 開催場所 | ホテル日航熊本 熊本ホテルキャッスル | |
| 8 参加者 | 1,100名 | |

9 参加対象

- (1) 老人福祉施設、通所介護事業所の役職員
- (2) 県市区町村行政機関の職員
- (3) 県市区町村社会福祉協議会の職員
- (4) その他関係者(訪問介護事業所、グループホーム、小規模多機能型居宅介護事業所等)

10 日 程

全体会 10/1(木)	12:00 13:00 :40 14:30 :40 15:40 :55 16:55 17:00									
		受付	式典	基調講演	休憩	行政説明	休憩	記念講演	次期開催県 あいさつ	
研究部会 10/2(金)	8:30 9:15		12:00							
	受付・ 運営 委員会	研究部会／7会場		散会						

○1日目 — 10月1日(木)：式典・全体会（ホテル日航熊本 5階 阿蘇）

日 程	開始時間	詳 細
受 付	12:00	
開会式典 (40分)	13:00	開会のことば・主催者挨拶・表彰授与式・来賓挨拶紹介
基調講演 (50分)	13:40	公益社団法人 全国老人福祉施設協議会
休憩(10分)	14:30	
行政説明 (60分)	14:40	厚生労働省
休憩(15分)	15:40	
記念講演 (60分)	15:55	「相手が一番、自分は二番」(仮) (講師) コロツケ 氏
次期開催県 あいさつ	16:55	大分県老人福祉施設協議会 会長

◆ 記念講演講師プロフィール ◆

コロツケ 氏

熊本県出身。1980年8月、NTV「お笑いスター誕生」でデビュー。TV・ラジオ等に出演する傍ら、全国各地でのものまねコンサートを開催。東京/明治座、名古屋/御園座、大阪/新歌舞伎座、福岡/博多座などの大劇場で座長公演を定期的に務めるほか、映画やドラマなど俳優としても高い評価を受け、活躍の場を広げている。長年にわたり、ものまねタレントとして芸術文化の振興に貢献し、数々の賞を受賞している。

また、芸能活動の傍ら、東日本大震災の被災地支援活動を精力的に行い、2012年防衛省防衛大臣特別感謝状を授与される。

【主な受賞歴】2014年 文化庁長官表彰

2016年「第16回ビートたけしのエンターテインメント賞 日本芸能大賞」

2019年「第28回 日本映画批評家大賞 特別新人賞」 他



○第2日目 — 10月2日(金)：研究部会（会場：ホテル日航熊本・熊本ホテルキャッスル）

運営委員会	8:30	出席者：運営委員・審査員・議長・発表者・幹事
研究部会	9:15	7研究部会（12時終了予定）

※テーマ毎に7つの研究部会で、9時15分から12時まで各6例の研究発表を行い、優秀賞、奨励賞を選出。

研究部会名	会場	テーマ
第1研究部会	ホテル日航熊本	「科学的介護の実現と推進」
第2研究部会	ホテル日航熊本	「利用者全体の高品質なサービスの追求」
第3研究部会	ホテル日航熊本	「社会福祉法人・施設から地域への発信」
第4研究部会	ホテル日航熊本	「人材確保・定着と働きやすい職場づくりの実践」
第5研究部会	熊本 ホテルキャッスル	「在宅サービスの実践と課題」
第6研究部会	熊本 ホテルキャッスル	「軽費・ケアハウスの実践と課題」
第7研究部会	ホテル日航熊本	「養護老人ホームの実践と課題」

*各研究部会の定員は、150名～200名程度とする。

11 大会運営

- (1) 大会は、全体会及び研究部会をもって構成する。
- (2) 全体会は、式典・基調講演・行政説明・記念講演で構成する。
- (3) 研究部会には、運営委員長・運営委員・座長・発表者を置く。

12 研究発表

- (1) 研究発表は、各県から推薦するものとする。
- (2) 発表時間は、1人15分程度とする。
- (3) 各研究部会において、会場参加者の投票により特に優秀な発表者を選出し表彰する。
- (4) 発表者は、各県・市老施協事務局から事前に配布される発表要領を確認し、抄録・発表データを準備並びに提出するものとする。

13 表彰

- (1) 九州社会福祉協議会連合会会長表彰を、別に定められた顕彰規程により、全体会において行う。各施設において、誤字・脱字、勤続年数の算定等を確認したうえで、各県・市老施協事務局へ7月6日(月)までに推薦書を提出するものとする。
- (2) 各県・市老施協事務局は、各県社協と調整のうえ、顕彰規程に基づく被表彰者の推薦を、7月13日(月)までに大会事務局(熊本県老施協事務局)へ提出するものとする。

14 参加・宿泊等の申込み

今大会の参加・宿泊・交流会等の斡旋並びに取りまとめ等については、名鉄観光サービス株式会社熊本支店が行う。

- (1) 各参加施設等は、別添「参加・宿泊等のご案内」を確認のうえ、参加申込サイト（下記参照）から7月10日（金）までに申し込むものとする。

【参加申込画面URL・QRコード】

< <http://www.mwt-mice.com/events/R8-shokuin> >



- (2) 希望研究部会は先着順での受付とし、各研究部会の定員になり次第締め切るものとする。
- (3) 参加申込者には事前に参加券等を発行し、大会当日の資料と引き換えるものとする。
- (4) 参加費・宿泊費等は、参加申込サイト内「お支払いについて」の内容に基づき、請求

書記載の指定口座に振り込むものとする。

15 参加費

(1) 大会参加費

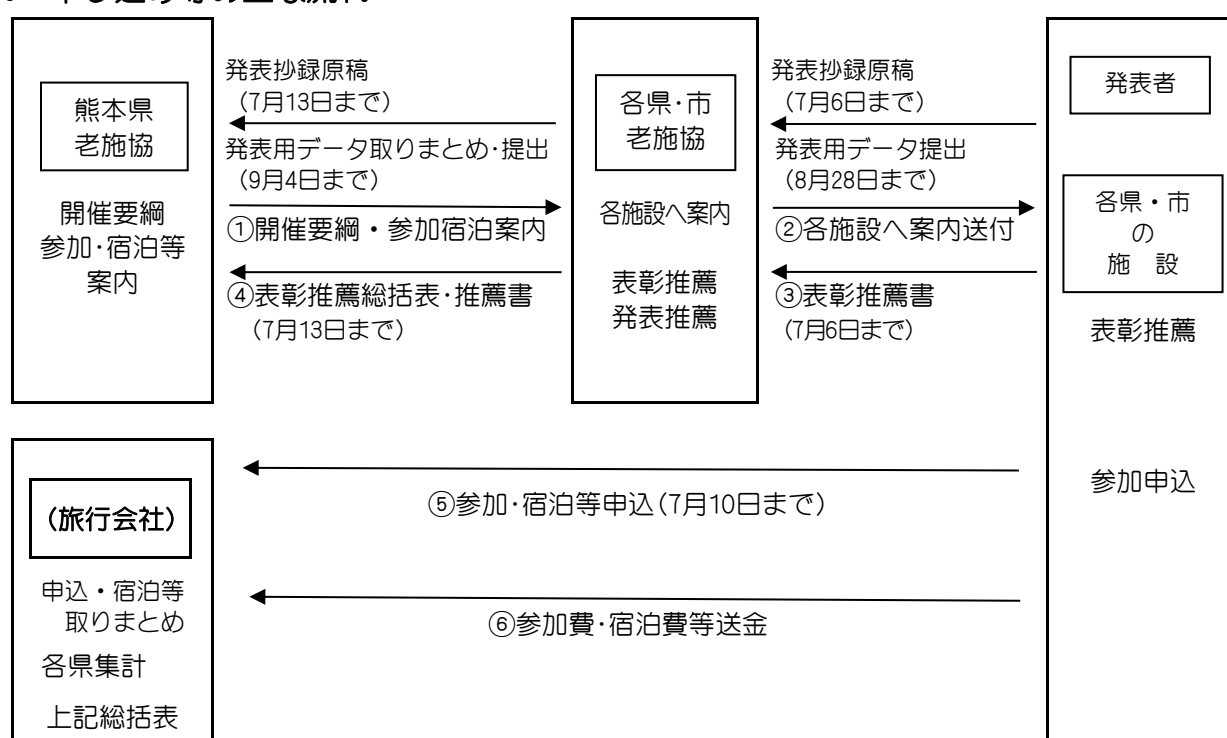
九社連老施協	参加費（参加者1人につき）
会 員	14,000円
非会員	20,000円

※会員とは、九州老人福祉施設協議会の正会員及び準会員とする。

※会員施設に属する法人内のグループホーム、小規模多機能型施設、訪問介護事業所については、1人14,000円とする。

- (2) 参加費の振込みがない参加は無効とする。なお、申込み後の参加費は返金しない。
(欠席の場合、資料の請求があれば、後日大会資料を送付する。)

16 申し込み等の主な流れ



17 個人情報の取り扱い

- (1) 本大会での個人情報の取り扱いについては、大会運営に関する業務以外の目的には使用しないものとする。
- (2) 「施設名」「氏名」「職種名」「参加研究部会」「役割」を掲載した参加者名簿を作成し、大会資料として配布する。

18 大会事務局

熊本県老人福祉施設協議会 事務局 担当 本田・中原
〒860-0842 熊本県熊本市中央区南千反畑町3番7号
熊本県社会福祉協議会 施設団体支援課内
電話 096-324-5462 ファックス 096-355-5440

19 宿泊等斡旋業者（大会参加・宿泊等の申込み先）

名鉄観光サービス株式会社 熊本支店
〒860-0803 熊本県熊本市中央区新市街11-18
熊本第一生命ビルディング7階
電話 096-354-4351 ファックス 096-354-4359

第1研究部会	科学的介護の実現と推進
<p>(趣旨)</p> <p>LIFE(科学的介護情報システム)の運用開始から6年が経過し、介護現場におけるデータに基づくPDCAサイクルの活用は「導入」から「定着・深化」のフェーズへと移行しています。リハビリ・栄養管理・口腔管理の一体的な取り組みが成果を上げ始める中、今後は蓄積されたエビデンスをいかに個別のケアプランへ具体的に反映させるかが問われています。</p> <p>本研究部会では、具体的なケアの場面で、いかに客観的な指標(記録)を活用し、多職種が共通の目標に向かって連携できるかを追求します。一人ひとりの利用者の自立支援と重度化予防を科学的な視点で最大化するための、具体的な実践と今後の課題について研究します。</p>	
<p>(ポイント)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・科学的介護情報システム(LIFE)の利活用 ・客観的な指標(記録)の活用とアウトカム評価方法の検討 ・サービスの質の向上と福祉 ・ADL改善やQOL向上に向けた取組 ・口腔ケアの取組 ・栄養ケアマネジメントの推進と実践 ・介護機器、ICT、介護ロボットの活用 ・褥瘡マネジメントの取組 ・機能訓練(フレイル等予防)の実践 ・専門職間の情報共有 等 	
<p>(研究発表者)</p> <p>①北九州市 特別養護老人ホーム清松園 「科学的介護の実現と推進」(仮称)</p> <p>②長崎県 特別養護老人ホーム聖マリアの園 「「今」を大切に繋ぐ 思いに寄り添う多職種連携での挑戦」(仮称)</p> <p>③熊本県 特別養護老人ホームこぼり苑 「尿意回復への取り組み ～科学的介護実践を経て～」</p> <p>④大分県 特別養護老人ホーム若葉苑 「やればできる！誤嚥性肺炎ゼロ達成」</p> <p>⑤宮崎県 特別養護老人ホーム千寿園 「介護の課題×DXの活用」(仮称)</p> <p>⑥沖縄県 特別養護老人ホーム嬉の里 「介護テクノロジーの可能性 導入から成果～機器を活かし変革の科学的介護～」(仮称)</p>	

第2研究部会	利用者主体の高品質なサービスの追求		
<p>(趣旨)</p> <p>介護保険制度の基本理念である「尊厳の保持」と「自立支援」を具現化するためには、多様化する高齢者の価値観に寄り添った柔軟なサービスの提供が不可欠です。一方で、深刻化する労働力不足を背景に、サービスの質の維持と現場の負担軽減を両立させる「業務改善」は喫緊の課題となっています。</p> <p>本研究部会では、利用者の重度化や医療ニーズの高度化が進む中で医療・介護のシームレスな連携を図りつつ、ICTや介護ロボット等の活用も視野に入れた高品質なケアの在り方を模索します。利用者・職員双方が幸福を実感できる、真の利用者主体の高品質なサービスの実現に向けた取り組みを研究します。</p>			
<p>(ポイント)</p> <table border="0"> <tr> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・認知症のケア実践 ・看取り介護 ・機能訓練、アクティビティの取組 ・医療との連携 ・高品質な食事提供(調理法の工夫、口腔ケア、栄養マネジメント)の実践 ・感染症における課題と今後の取組 ・生産性向上の取組 </td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・ノーリフティングケアの取組 ・尊厳保持、虐待防止 ・医療ニーズへの対応 ・利用者の要望、状態に合わせた排せつや入浴業務 ・ICT・ロボット・手順書等を活用した業務の標準化 ・多職種連携による施設ケアの取組 等 </td> </tr> </table>		<ul style="list-style-type: none"> ・認知症のケア実践 ・看取り介護 ・機能訓練、アクティビティの取組 ・医療との連携 ・高品質な食事提供(調理法の工夫、口腔ケア、栄養マネジメント)の実践 ・感染症における課題と今後の取組 ・生産性向上の取組 	<ul style="list-style-type: none"> ・ノーリフティングケアの取組 ・尊厳保持、虐待防止 ・医療ニーズへの対応 ・利用者の要望、状態に合わせた排せつや入浴業務 ・ICT・ロボット・手順書等を活用した業務の標準化 ・多職種連携による施設ケアの取組 等
<ul style="list-style-type: none"> ・認知症のケア実践 ・看取り介護 ・機能訓練、アクティビティの取組 ・医療との連携 ・高品質な食事提供(調理法の工夫、口腔ケア、栄養マネジメント)の実践 ・感染症における課題と今後の取組 ・生産性向上の取組 	<ul style="list-style-type: none"> ・ノーリフティングケアの取組 ・尊厳保持、虐待防止 ・医療ニーズへの対応 ・利用者の要望、状態に合わせた排せつや入浴業務 ・ICT・ロボット・手順書等を活用した業務の標準化 ・多職種連携による施設ケアの取組 等 		
<p>(研究発表者)</p> <p>①長崎県 特別養護老人ホーム時津荘 「うまかもん食べて元気！元気！ ～100歳からはじまる第二の人生～」</p> <p>②熊本県 特別養護老人ホーム桜の丘 「常同行動に対する代替行動の効果 ～前頭側頭型認知症様の症状を呈する方へのケア～」</p> <p>③大分県 地域密着型特別養護老人ホーム鈴鳴荘 「100歳の壁～あなたは100歳をどのように迎えたいですか～」</p> <p>④宮崎県 特別養護老人ホームゴールデンレイク 「ダイバーショナルセラピー(DT)の必要性と可能性 ～人は楽しい経験をしなければ生きていても生きていけない～」(仮称)</p> <p>⑤鹿児島県 特別養護老人ホームアルテンハイム加世田 「介護ロボット等の定着への課題と成果～生産性向上に取り組む中で見えてきたこと～」(仮称)</p> <p>⑥福岡市 特別養護老人ホーム花畑ホームアイナリーケア 「安心安全な生活環境を目指して～眠り SCAN と離床 CATCH の導入から活用まで～」</p>			

第3研究部会	社会福祉法人・施設から地域への発信
<p>(趣旨)</p> <p>社会福祉法人は、地域のセーフティネットとして高い公益性を発揮し、孤独死や虐待、認知症高齢者の孤立といった複雑化する地域課題に立ち向かう使命を担っています。人口減少により地域のつながりが希薄化する中、施設が持つ専門機能や人材を地域へ「還元」し、共に支え合う基盤を構築することが求められています。また、多発する自然災害に対し、福祉避難所としての機能強化や地域支援活動の充実は、地域の社会資源としての喫緊の責務です。これらの活動を永續させるためには、透明性の高い法人運営とネットワーク化による経営基盤の強化、そして効率的な組織運営が不可欠となります。</p> <p>本研究部会では、高齢者福祉の拠点としての役割を再定義し、地域社会から必要とされ続けるための戦略的な情報発信、住民との協働による地域活性化、地域貢献の実践について研究します。</p>	
<p>(ポイント)</p> <ul style="list-style-type: none"> •SDGs 推進の取組 •地域共生社会の実現のための取組 •災害時の地域支援活動 •地域における公益活動の取組 •身寄りのない方、生活困窮者支援への取組 •法人経営の透明性の確保並びに合理化、適正化の取組 •小規模法人のネットワーク化による経営効率化や社会福祉法人の連携活動 等 <ul style="list-style-type: none"> •既存の社会資源の地域住民に向けた活用 •地域行政と福祉関係者との地域活性化に向けた連携 •施設間応援体制の構築 •社会福祉法人の経営戦略 •施設の社会化、地域化の取組 	
<p>(研究発表者)</p> <p>①沖縄県 特別養護老人ホーム球美の杜 「高齢者施設における地域とのつながりを通じた実践」(仮称)</p> <p>②鹿児島県 特別養護老人ホーム縄文の郷 「Tさんにしか見えない世界を、私たちは見ている。 ～意味性認知症の周辺症状を身体的記憶と芸術活動によるルーティンで包み込む～」</p> <p>③宮崎県 特別養護老人ホームきりしまの園 「地域における公益活動と社会福祉法人連絡会について」(仮称)</p> <p>④佐賀県 特別養護老人ホームシルバーケア吉野ヶ里 「次世代に向けた地域とのかかわり」(仮称)</p> <p>⑤北九州市 特別養護老人ホーム三萩野 「施設での更なる取り組みについて」(仮称)</p> <p>⑥福岡県 インマイライフあらと定期巡回センター 「完全在宅型・定期巡回サービスの実践」(仮称)</p>	

第4研究部会	人材確保・定着と働きやすい職場づくりの実践
<p>(趣旨)</p> <p>介護人材の確保は、今や一法人の枠を超えた社会全体の最優先課題です。質の高い「利用者ファースト」のケアを実現するためには、まず「職員ファースト」の視点に立ち、職員が専門職としての誇りと喜びを感じながら、生き生きと働き続けられる環境を整えなければなりません。そのためには、SNS等を活用した介護の魅力発信、外国人材を含む多様なルーツを持つ人材の活躍、公正な人事評価制度の構築が不可欠です。さらに、AIやICT、介護ロボットを戦略的に導入することで現場の物理的・精神的負担を軽減し、生産性向上を通じたワークライフバランスの確立を目指す必要があります。</p> <p>本研究部会では、人材の「採用」から「定着・育成」への確かな好循環を生み出すための具体的戦略に焦点を当て、職員一人ひとりがプロフェッショナルとして輝き続けるための組織づくりについて研究します。</p>	
<p>(ポイント)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・効果的な採用戦略と人材育成の取組 ・ハラスメント対策 ・介護の魅力発信やイメージ改善 ・職場内の円滑なコミュニケーション ・福利厚生充実 ・人事考課 ・フレックス勤務 ・AI・ICT、介護ロボットの活用による業務効率化と現場の負担軽減 等 <ul style="list-style-type: none"> ・メンタルヘルスケア対策 ・ワークライフバランス ・自職場課題分析 ・外国人労働者への教育体制、研修体制 ・SNSの効果的活用法 ・キャリアアップ 	
<p>(研究発表者)</p> <p>①福岡県 特別養護老人ホームふるさとホーム 「人材確保時代における施設再生戦略 ～ふるさとホーム大規模改修にみる“働きやすさ”の実装と現場改革～」(仮称)</p> <p>②北九州市 特別養護老人ホームこくらの郷 「ケアの標準化と質向上の両立に向けた取り組み」(仮称)</p> <p>③佐賀県 特別養護老人ホームめずら荘 「介護業務の標準化～働きやすい職場環境の整備に向けて～」</p> <p>④福岡市 特別養護老人ホームサンシャインプラザ 「人材定着に向けて～現場発！「続ける」を選べる職場づくり～」(仮称)</p> <p>⑤沖縄県 特別養護老人ホームすみれ 「職員定着を目指した取り組み～1on1導入による効果～」</p> <p>⑥大分県 特別養護老人ホーム清流苑 「分かち合い共に生きる」</p>	

第5研究部会	在宅サービスの実践と課題
<p>(趣旨)</p> <p>全ての「団塊の世代」が75歳以上の後期高齢者となった2025年を越え、在宅サービスにはより多様化・高度化するニーズへの対応が求められています。そのような中で、地域包括ケアの推進に伴い、在宅サービスには自立支援・重度化防止の実践と、サービスの効率化という両面での進化が期待されています。厳しい経営環境や人手不足に直面する今こそ、自事業所の強みを明確にし、利用者や職員の声を「未来」のサービス改善へとつなぐ視点が不可欠です。</p> <p>本研究部会では、在宅サービスが「選ばれる時代」において、在宅サービスの継続性、地域単位でのサービス提供システムの在り方、科学的介護の導入、自立支援・重度化防止など、より質の高い介護福祉サービスを継続的に提供するための諸課題について研究します。</p>	
<p>(ポイント)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・介護予防サービスの取組 ・ICTの活用による業務効率化 ・機能訓練(フレイル対応等)の取組 ・事業継続(自然災害・感染症) ・地域包括ケアシステムの深化に向けた取組 ・保険外サービスの取組 等 <ul style="list-style-type: none"> ・自立支援、重度化防止 ・認知症ケアの取組 ・多様な働き方の工夫 ・科学的介護(LIFE)及び各種加算算定への取組 ・関係機関との連携、事業所間の連携 	
<p>(研究発表者)</p> <p>①佐賀県 デイサービスセンターユートピア 「「また来たい」につながったデイサービスの取り組み ～やってみゅーだ！から始まった現場実践～」(仮称)</p> <p>②福岡県 デイサービスセンターみのり 「マイナスからプラスに！！事業運営再生の取り組み」</p> <p>③鹿児島県 あかね園デイサービスセンター 「地域課題×独自通貨＝〇〇〇～独自通貨で地域課題に取り組んだその先には～」(仮称)</p> <p>④長崎県 デイサービスセンターサンハイツ 「「やりたい」をあきらめない 稼働率90%！5年で利用者倍増の取り組み 利用者も職員も管理者も 三方良しの事業所作りとは」(仮称)</p> <p>⑤福岡市 七樹苑ケアプランサービス 「在宅における高齢者虐待支援」</p> <p>⑥熊本県 ユーカリ苑デイサービスセンター 「あたり前の日常のために私たちができること」(仮称)</p>	

第6研究部会	軽費・ケアハウスの実践と課題		
<p>(趣旨)</p> <p>軽費老人ホーム・ケアハウスは、創設以来、多様な高齢者の「住まい」を支えてきました。しかし現在、サービス付き高齢者向け住宅や有料老人ホームといった民間事業者の台頭により、入居獲得に向けた競争はかつてないほど激化しています。あわせて、入居者の高齢化や重度化、認知症、生活困窮、さらには建物の老朽化といった、多角的で困難な課題に直面しています。</p> <p>本研究部会では、こうした厳しい局面を乗り越えるため、公的な役割を担う本制度特有の強みを再認識しつつ、地域共生社会において単なる「居住施設」に留まらない、地域の社会資源としての新たな役割を再定義します。時代の要請に応える「選ばれる住まい」としての将来像を明確にし、その具体的な実践と持続可能な経営戦略について研究します。</p>			
<p>(ポイント)</p> <table border="0"> <tr> <td data-bbox="159 728 790 1019"> <ul style="list-style-type: none"> •軽費老人ホーム、ケアハウスの現状と課題 •民間施設との差別化 •介護予防、認知症予防、住まいの多様性 •軽費、ケアハウスの広報と情報発信戦略 •社会的資源としての役割 •医療との連携 •地域共生社会の実現に向けた取組 等 </td> <td data-bbox="805 728 1428 974"> <ul style="list-style-type: none"> •選ばれる施設へ向けた取組 •ケアハウスにおける特定施設の課題 •介護保険以外の生活支援サービスの取組 •地域との交流、連携 •災害、感染症(BCP)への対応等 •相談支援の実践 </td> </tr> </table>		<ul style="list-style-type: none"> •軽費老人ホーム、ケアハウスの現状と課題 •民間施設との差別化 •介護予防、認知症予防、住まいの多様性 •軽費、ケアハウスの広報と情報発信戦略 •社会的資源としての役割 •医療との連携 •地域共生社会の実現に向けた取組 等 	<ul style="list-style-type: none"> •選ばれる施設へ向けた取組 •ケアハウスにおける特定施設の課題 •介護保険以外の生活支援サービスの取組 •地域との交流、連携 •災害、感染症(BCP)への対応等 •相談支援の実践
<ul style="list-style-type: none"> •軽費老人ホーム、ケアハウスの現状と課題 •民間施設との差別化 •介護予防、認知症予防、住まいの多様性 •軽費、ケアハウスの広報と情報発信戦略 •社会的資源としての役割 •医療との連携 •地域共生社会の実現に向けた取組 等 	<ul style="list-style-type: none"> •選ばれる施設へ向けた取組 •ケアハウスにおける特定施設の課題 •介護保険以外の生活支援サービスの取組 •地域との交流、連携 •災害、感染症(BCP)への対応等 •相談支援の実践 		
<p>(研究発表者)</p> <p>①鹿児島県 軽費老人ホーム龍門の里 「服薬管理の見直しによる安全性の向上と業務効率化」(仮称)</p> <p>②宮崎県 ケアハウスとんぼの里 「『日々是共栄!』～施設・ご利用者・地域 手を取り合って…～ 小さなケアハウスでの楽しい日々を支える実践と課題…」(仮称)</p> <p>③福岡県 ケアハウスメゾンマリア 「メゾンマリアで行なっている地域貢献活動について」(仮称)</p> <p>④熊本県 ケアハウス光露館 「豊かな老後のケアハウスを目指して!! ～車椅子になってもケアハウスでの生活は出来る～」(仮称)</p> <p>⑤佐賀県 ケアハウス大地 「適材適所の住み替え～ケアハウス大地の退去支援～」</p> <p>⑥長崎県 ケアハウス椿寿荘 「転機は「すごい足踏み。」～ここでずっと元気に。健康寿命の根っこを張る「歩み」～」</p>			

第7研究部会	養護老人ホームの実践と課題
<p>(趣旨)</p> <p>養護老人ホームは、虐待、困窮、孤立、矯正施設退所者への対応など、現代社会における究極のセーフティネットとしての役割を担っています。近年、入所者の高齢化や重度化に加え、精神疾患や認知症、DV、依存症といったニーズが多様化・複雑化する一方で、配置基準の限界や、措置費の一般財源化・市町村への権限移譲に伴う地方格差といった構造的課題が、専門性の発揮を阻む大きな障壁となっています。</p> <p>本研究部会では、措置施設としての本来の意義を問い直し、これら困難な課題に対応するための高度なソーシャルワーク機能の発揮と、それを支える職員の資質向上・環境整備に焦点を当てます。困難な状況にある高齢者の「最後の砦」として、地域社会における多機能な役割を再定義し、質の高い支援を継続するための具体的な方策と将来像を研究します。</p>	
<p>(ポイント)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生活困窮、精神疾患、認知症高齢者、社会復帰者(刑務所等出所者)等の受入れ ・老人福祉法における養護老人ホームの役割 ・良質なサービス提供の取組 ・養護待機者の掘り起こしのための取組 ・特定施設の現状 ・感染症対策等 ・入所者の高齢化、重度化への対応 ・福祉人材の確保、育成、定着に向けた取組 ・養護老人ホームにおける契約入所 ・地域共生社会への取組 ・災害時の地域との連携 等 	
<p>(研究発表者)</p> <p>①熊本県 養護老人ホーム明生園 「養護老人ホームでの「生きがい」づくりを考える ～多様な支援と多職種連携で入所者を支える～」</p> <p>②福岡市 養護老人ホーム博多老人ホーム 「多様化する入居者への対応」(仮称)</p> <p>③沖縄県 養護老人ホーム首里偕生園 「苦い経験を活かし、感染症と向き合う ～クラスターを経験した支援員の感染症における利用者対応～」</p> <p>④北九州市 養護老人ホーム楽翁荘 「楽翁荘チャレンジ食空間」(仮称)</p> <p>⑤大分県 シルバーホームはるかぜ 「持続可能な職場作り」</p> <p>⑥鹿児島県 養護老人ホームなぎさ園 「人手不足に立ち向かう」</p>	